

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 大垣特別支援学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和5年3月1日(水) 10:00~12:00
- 3 開催場所 大垣特別支援学校会議室
- 4 参加者

会長	後藤 悦子	障がい者相談支援事業所ゆう	所長
副会長	伊藤 三枝子	清流の国ぎふ女性防災士会	会長
委員	石丸 明美	大垣市くすのき苑	
	片方 美希子	大垣特別支援学校PTA役員	
	国枝 由道	上笠自治会	会長
	山口 敏文	大垣水都ライオンズクラブ	第一副会長
	山田 晃嗣	情報科学芸術大学院大学	准教授
学校側			
	松原 勝己	校長	
	桐山 泉	事務部長	
	高木 靖	小中学部教頭	
	福島 洋之	高等部教頭	
	佐藤 鈴子	小学部主事	
	若原 真智	中学部主事	
	寺井 聡	高等部主事	
	橋浦 夏子	教務主任	

5 会議の概要(協議事項)

- (1) 本年度の取組と来年度に向けて(各部より)
 - ・各部主事からの説明
- (2) 高等部卒業生の進路状況について
 - ・高等部主事からの説明
- (3) 学校アンケート実施結果より
 - ・12月に実施したアンケートを基に説明
- (4) 授業参観
 - ・高等部卒業式練習を参観
- (5) 指導・高評
 - 意見1 タブレット端末の使用について、有効的な活用をしてほしい。また、YouTubeを使う場合は、流れてくるCMに配慮が必要である。
 - 意見2 障がい者手帳があってもフルタイムで働ける力を身に付けて欲しい。

- 意見3 卒業式の練習に感動した。コロナ禍で、歌を歌う機会も少ない中で、生の歌を聴くことができてよかった。保護者として、卒業後の進路についてどのように進めていけば良いかを教えてほしい。
- 意見4 先生方が、コロナ禍で「何ができるか」を考えながら進めているという言葉が心に残っている。アンケートの改善も前向きに考えてあり良い。
- 意見5 コロナ禍で、先生方が色々考えてやっているということを、児童生徒に説明したり、見せたりすることが大切ではないか。
- 意見6 卒業生に対して見届けを行うフォローアップシステムがあることがすばらしい。
- 意見7 卒業式の練習を見て、涙をこらえるのが大変だった。「これからは僕たちが両親を支えます」という言葉が生徒たちから出てくることが衝撃だった。人を思いやる気持ちやこの学校の温かさを感じる。これからもこのような学校であって欲しい。
- 意見8 卒業後は様々なことがあると思うが、強く明るい社会人になっていけるようにエールを送りたい。
- 意見9 小学部から高等部までひとつの学校で連携して、一貫した教育ができています。
- 意見10 働き方改革で先生方の負担が増えているのではないかと。先生方のケアや若い人を育てていくことを大切にしてほしい。

6 会議のまとめ

- ・ICT機器を効果的に利用する方法を今後も検討していく。
- ・当校が取り組んでいるコロナ禍における授業や行事について、保護者や児童生徒への丁寧な情報発信に努めていく。
- ・職員の負担を軽減するだけでなく、若い職員をそだてる視点をもった働き方改革の在り方について検討していく。